

過去の出題傾向について確認しておこう！

九大入試研究[化学]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の九州大学の入学試験(化学)で出題された分野を、次の表にまとめた。

| | {1} | {2} | {3} | {4} | {5} | {6} | {7} |
|------|-------------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------|----------------------------------|-------------------------|--|
| 2016 | 化学結合 物質の三態 | 反応速度 | 熱化学 | 有機化合物の 構造決定 | アミノ酸 ペプチド | — | — |
| 2015 | 周期表 | 結晶格子 ヘンリーの法則 電離平衡 | 反応速度 | 有機化合物の 構造決定 | 高分子化合物 | — | — |
| 2014 | 気体 | 熱化学 化学平衡 | 金属イオンの 分離 | 有機化合物の 構造決定 | A 合成高分子 化合物 B 天然高分子 化合物 | — | — |
| 2013 | 元素の周期性 化学結合 | 気体の発生反 応 平衡移動 電気分解 | 弱酸の電離平 衡 中和反応 酸化還元反応 | 混合気体 蒸気圧 | 芳香族化合物 | 高分子化合物 | — |
| 2012 | 14 族元素の 単体と化合物 | イオンの反応 | 電気分解 | 実在気体 | 芳香族化合物 | 天然有機化合 物 | — |
| 2011 | 電子配置 化学結合 | 燃料電池 | 浸透圧 コロイド | 反応速度 | 脂肪族化合物 | 五大栄養素 | — |
| 2010 | 物質の構造 生成熱 | 鉄の性質・ 反応 | 溶解度積 電気分解 | 反応速度 | 有機化合物の 構造決定 | — | — |
| 2009 | クラーク数 元素の性質 | 電気分解 混合気体 | 凝固点降下 化学平衡 | 気相平衡 | 芳香族化合物 | A 生命と物質 B 生活と物質 | — |
| 2008 | 水素結合 | 飽和蒸気圧 | 硫酸化合物 | 反応速度 | 有機化合物の 構造決定 | A 高分子化合 物 B 生命と物質 | — |
| 2007 | 同位体 | 電気分解 | 反応速度 | 溶解熱・ 中和熱の測定 | 有機化合物の 構造決定 | セロビオース の誘導体 | A タンパク質, フェノール 樹脂 B アミノ酸の 性質 |

▶ 分析と対策

2016 年は昨年と同様に 5 題であった。全体として問題の難易度が高く、分量も多いのでスピードが求められる。

教科書レベルの知識を問う設問が多いため、対策として、まずは高校の教科書を徹底的に学習することが重要である。例年、制限時間に対して設問数が多いので、問題文の内容をすばやく把握し、テキパキと計算しなければ、高得点は難しい。計算問題に関しては、標準～やや難の演習を徹底的に積んでおくべきである。